
令和5年度 予算編成の概要

1. 本市財政と予算編成の方針 1 ページ
2. 各会計予算の規模 2 ページ
3. 一般会計歳入予算 4 ページ
4. 一般会計歳出予算(目的別) 6 ページ
5. 一般会計歳出予算(性質別) 8 ページ
6. 特別会計の歳入歳出予算 10 ページ
7. 主要事業の概要 11 ページ

1. 本市財政と予算編成の方針

● 本市の財政事情

一般会計の令和3年度決算は、実質収支が約4億2,333万円の黒字となりました。また、財政調整基金の積立・取崩額などを加減した実質単年度収支も、約5億665万円の黒字となっています。

歳入の一般財源は、市税の調定額が、コロナ禍の影響が続いていることもあり、個人市民税が前年度比で3.48%減、法人市民税も2.55%減となりましたが、純固定資産税は風力発電設備の新設等により1.86%の増となりました。地方交付税については、地方負担措置のための再算定や追加交付が行われたことにより4.72%の増となりました。一方で、歳出は、新型コロナウイルスワクチン接種事業にかかる人件費や物件費が増加したほか、子育て世帯等臨時特別給付事業等により扶助費が増大しております。なお、経常収支比率は88.9%で、前年度比で0.8ポイント改善しております。

今後の財政の見通しは、歳入では、地方交付税において臨時財政対策債の発行が更に抑制されるとの試算が示されており、実質的な交付税の増加は見込めず、また市税等においても、地域経済の状況や生産年齢人口を中心とした人口減少などによる影響を避けることはできません。一方で、歳出は、少子高齢化による社会保障費や、公共施設等の老朽化にかかる維持管理費等が増大し、また国主導事業であるデジタル化や脱炭素化の取り組みなど、新たな行政需要への対応が必要となります。

令和3年度末の市債残高は、140億6,925万2千円となり、この決算に基づく財政健全化比率は、実質公債費比率が8.2%、将来負担比率が52.2%と、前年度比でいずれも改善しています。しかし、実施計画において複数の大規模事業が予定されており、事業実施にあたっては基金の取崩しや市債発行による財源確保が必要になることから、充当可能基金残高の減少及び、市債償還額の相当程度の増加が見込まれます。

● 予算編成

令和5年度の当初予算編成にあつては、新型コロナウイルス感染症への対応について、国の財源措置の見直しが見込まれることも念頭に、国県の経済対策等と連動した取り組みや「第2次にかほ市総合発展計画（後期基本計画R4～8）」、「にかほ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の主要施策及び、「市長の2期目公約（7分野25項目）」に基づく事業・施策の推進を核として予算を配分しました。

すべての事業において多角的な視野をもち、発想の転換と創意工夫を図り、限られた財源を地域の未来に活かされるよう、積極的かつ着実に、そしてスピード感をもって、市の将来を見据えた必要な諸施策を積極的に推進するものとします。

2. 各会計予算の規模

()内は対前年度比

にかほ市の全予算規模

一般会計・特別会計・企業会計の合計 221億3,107万7千円
(5億8,081万8千円、2.7%増)

● 一般会計

159億9,000万円 (4億4,000万円、2.8%増)

総務費(一般管理費、行政経営推進費など)、民生費(障害福祉費、介護保険事業費など)、農林水産業費(林業振興費など)、土木費(道路橋梁新設改良費、除雪費など)及び消防費(災害対策費など)の増加などが主な要因です。

● 国民健康保険事業特別会計事業勘定

28億6,504万2千円 (793万4千円、0.3%減)

一般被保険者の医療給付費分の減少などが主な要因です。

● 国民健康保険事業特別会計施設勘定

9,251万8千円 (1,126万円、13.9%増)

医療用機械器具購入費や公債費(診療所倉庫等改築事業分)の増加が主な要因です。

● 後期高齢者医療特別会計

3億7,389万9千円 (43万3千円、0.1%減)

一般管理費の減少が主な要因です。

● 公共下水道事業特別会計

13億8,188万5千円 (7,053万4千円、5.4%増)

公共下水道事業進捗による事業費の増加が主な要因です。

● 農業集落排水事業特別会計

4億1,643万1千円 (7,024万8千円、14.4%減)

一般国道遊佐象潟道路工事に伴う補償工事の減少が主な要因です。

● 水道事業会計

10億1,130万2千円 (1億3,763万9千円、15.8%増)

一般国道遊佐象潟道路工事に伴う補償工事の増加が主な要因です。

各会計予算の編成状況

(単位:千円 %)

会計名	令和5年度 当初予算額 A	令和4年度 当初予算額 B	比較増減 (A-B) C	増減率 C/B
一 般 会 計	15,990,000	15,550,000	440,000	2.8
国民健康保険事業 (事 業 勘 定)	2,865,042	2,872,976	△ 7,934	△ 0.3
国民健康保険事業 (施 設 勘 定)	92,518	81,258	11,260	13.9
後期高齢者医療事業	373,899	374,332	△ 433	△ 0.1
公共下水道事業	1,381,885	1,311,351	70,534	5.4
農業集落排水事業	416,431	486,679	△ 70,248	△ 14.4
一般会計・特別会計 合計	21,119,775	20,676,596	443,179	2.1
水道事業 【 公 営 企 業 会 計 】	1,011,302	873,663	137,639	15.8
全会計合計	22,131,077	21,550,259	580,818	2.7

3. 一般会計歳入予算

() 内は対前年度比

- **市税 27億5,358万8千円 (4,540万9千円、1.7%増)**
個人市民税は人口減などもありますが、コロナ禍による経済の落ち込みから徐々に回復することが想定され、867万9千円(0.9%)の増、法人市民税については3,529万円(38.6%)の増としています。
- **分担金及び負担金 558万6千円 (△70万1千円、11.1%減)**
老人福祉施設入所者負担金の減などが主な要因です。
- **使用料及び手数料 1億4,834万8千円 (△311万5千円、2.1%減)**
民生使用料(午ノ浜温泉)は増となったものの、商工使用料(観光拠点センター)、土木使用料(市営住宅)、教育使用料(体育施設)がそれぞれ減となったことなどが主な要因です。
- **財産収入 5,320万4千円 (21万9千円、0.4%増)**
財政調整基金の利子の増などが主な要因です。
- **繰入金 18億5,394万4千円 (5億3,270万円、40.3%増)**
財政調整基金及び社会教育施設整備基金からの繰入金の増などが主な要因です。
- **諸収入等 13億9,371万9千円 (△9,848万5千円、6.6%減)**
ふるさと納税の減などが主な要因です。
- **地方譲与税 2億600万円 (△100万円、0.5%減)**
自動車重量譲与税の減が要因です。
- **交付金 7億702万5千円 (3,837万5千円、5.7%増)**
法人事業税交付金及び地方消費税交付金の増などが主な要因です。
- **地方交付税 52億2,500万円 (増減なし)**
普通交付税50億円、特別交付税2億2,500万円を計上しています。国の地方財政計画や令和4年度実績を勘案し同額計上としています。
- **国県支出金 25億3,860万6千円 (△1億4,320万1千円、5.3%減)**
デジタル田園都市国家構想交付金が増加した一方、新型コロナウイルス感染症対策に関連した国庫支出金が皆減したことなどが主な減少の要因です。
- **市債 11億498万円 (6,979万9千円、6.7%増)**
臨時財政対策債が9,210万1千円の前年比60.2%減となったものの、旧上浜小学校利活用事業、防災行政無線強靱化事業、象潟大竹線道路整備事業、高機能消防指令センター改修事業などの事業実施が主な増加の要因です。

一般会計歳入予算の概要

(単位:千円 %)

区分		令和5年度		令和4年度		比較増減		増減率
		当初予算額 A	構成比	当初予算額 B	構成比	A-B	C	C/B
自主財源	市 税	2,753,588	17.2	2,708,179	17.4	45,409		1.7
	分担金・負担金	5,586	0.1	6,287	0.1	△ 701		△ 11.1
	使用料・手数料	148,348	0.9	151,463	1.0	△ 3,115		△ 2.1
	財 産 収 入	53,204	0.3	52,985	0.3	219		0.4
	繰 入 金	1,853,944	11.6	1,321,244	8.5	532,700		40.3
	諸 収 入 等	1,393,719	8.7	1,492,204	9.6	△ 98,485		△ 6.6
	小 計	6,208,389	38.8	5,732,362	36.9	476,027		8.3
依存財源	地 方 譲 与 税	206,000	1.3	207,000	1.3	△ 1,000		△ 0.5
	交 付 金	707,025	4.4	668,650	4.3	38,375		5.7
	地 方 交 付 税	5,225,000	32.7	5,225,000	33.6	0		0.0
	国 県 支 出 金	2,538,606	15.9	2,681,807	17.2	△ 143,201		△ 5.3
	市 債	1,104,980	6.9	1,035,181	6.7	69,799		6.7
	小 計	9,781,611	61.2	9,817,638	63.1	△ 36,027		△ 0.4
合 計		15,990,000	100.0	15,550,000	100.0	440,000		2.8

市税の内訳(再掲)

税 目		令和5年度		令和4年度		比較増減		増減率
民 税	個 人 市 民 税	980,008	35.6	971,329	35.9	8,679		0.9
	法 人 市 民 税	126,731	4.6	91,441	3.4	35,290		38.6
小 計		1,106,739	40.2	1,062,770	39.3	43,969		4.1
固 定	固 定 資 産 税	1,403,170	50.9	1,404,166	51.8	△ 996		△ 0.1
	国 有 資 産 等 交 付 金	5,482	0.2	6,116	0.2	△ 634		△ 10.4
小 計		1,408,652	51.1	1,410,282	52.0	△ 1,630		△ 0.1
軽自動車税		88,532	3.2	85,417	3.2	3,115		3.6
市たばこ税		145,000	5.3	146,000	5.4	△ 1,000		△ 0.7
入湯税		4,665	0.2	3,710	0.1	955		25.7
合 計		2,753,588	100.0	2,708,179	100.0	45,409		1.7

4. 一般会計歳出予算【目的別】

() 内は対前年度比

- **議会費 1億2,992万1千円 (235万9千円、1.8%増)**
議員報酬等の増が主な要因です。
- **総務費 33億2,289万4千円 (3,493万4千円、1.1%増)**
職員給の増などにより一般管理費が3,637万7千円増、ふるさと納税関連経費の減や金浦こ線橋改修事業の皆減などにより交流促進事業費が2億9,834万6千円減、公共施設等総合管理基金の新設などにより行政経営推進費が4億29万6千円増となっています。
- **民生費 40億3,492万1千円 (3,564万円、0.9%増)**
障害福祉サービス費の増などにより障害者福祉費が3,896万5千円増、介護保険システム分離構築作業委託などにより介護保険事業費が4,052万6千円増、児童手当の減などにより児童福祉総務費が1,786万4千円減、子どものための教育・保育給付費負担金の減などにより児童運営費が4,226万9千円減となっています。
- **衛生費 9億8,165万7千円 (△6,810万2千円、6.5%減)**
ごみ焼却施設等運転管理委託料の増などにより環境プラザ運営費が3,199万5千円増、新型コロナウイルスワクチン接種事業の皆減などにより成人保健事業費が1億2,103万円減となっています。
- **労働費 1,208万8千円 (△5万4千円、0.4%減)**
- **農林水産業費 11億3,022万6千円 (7,141万7千円、6.7%増)**
秋田県水と緑の森づくり税事業の拡充などにより林業振興費が4,123万1千円増、造林手数料の増などにより森林整備センター造林事業費が3,704万1千円増、機構集積協力金の減などにより農業振興費が1,850万円減となっています。
- **商工費 5億7,017万5千円 (△4,403万5千円、7.2%減)**
スケートボード施設整備事業の実施などにより公園管理費が5,695万6千円増、ワーケーション推進事業委託の減などにより商工振興費2,928万7千円減、アウトドア拠点施設用地等造成工事の減などにより観光総務費が6,495万9千円減となっています。
- **土木費 15億4,807万円 (1億7,093万6千円、12.4%増)**
天ヶ町・堺田2号線、象潟大竹線の各道路改良事業の増などにより道路橋梁新設改良費が9,188万8千円増、除雪機購入などにより除雪費が6,061万3千円増となっています。
- **消防費 10億8,101万6千円 (4億371万8千円、59.6%増)**
防災行政無線強靱化工事の実施などにより災害対策費が3億6,828万4千円増、高機能消防指令センター更新(第3期)などにより常備消防費が7,640万7千円増となっています。
- **教育費 15億1,154万6千円 (△8,190万3千円、5.1%減)**
リニューアル事業実施によりフェライト子ども科学館管理費が5,051万3千円増、昇降機改修完了により仁賀保勤労青少年ホーム管理費が3,203万6千円減、大規模改修完了により海洋センター管理費が8,585万5千円減となっています。
- **公債費 16億3,643万8千円 (△8,459万7千円、4.9%減)**
消防救急デジタル無線事業の償還終了などが主な要因です。

一般会計歳出予算(目的別)の概要

(単位:千円 %)

区分	令和5年度		令和4年度		比較 増減 C A-B	増減率 C/B	本年度予算額の財源内訳			
	当初予算額 A	構成比	当初予算額 B	構成比			特定財源			一般 財源
							国県 支出金	地方債	その他	
1 議会費	129,921	0.8	127,562	0.8	2,359	1.8	0	0	192	129,729
2 総務費	3,322,894	20.8	3,287,960	21.1	34,934	1.1	134,315	74,200	1,767,039	1,347,340
3 民生費	4,034,921	25.2	3,999,281	25.7	35,640	0.9	1,820,406	32,100	119,676	2,062,739
4 衛生費	981,657	6.1	1,049,759	6.8	△ 68,102	△ 6.5	9,163	0	52,914	919,580
5 労働費	12,088	0.1	12,142	0.1	△ 54	△ 0.4	0	0	10,160	1,928
6 農 林 水産業費	1,130,226	7.1	1,058,809	6.8	71,417	6.7	284,271	50,000	302,192	493,763
7 商工費	570,175	3.6	614,210	3.9	△ 44,035	△ 7.2	14,853	8,100	195,937	351,285
8 土木費	1,548,070	9.7	1,377,134	8.9	170,936	12.4	269,667	338,900	33,281	906,222
9 消防費	1,081,016	6.8	677,298	4.4	403,718	59.6	910	470,500	5,187	604,419
10 教育費	1,511,546	9.4	1,593,449	10.2	△ 81,903	△ 5.1	5,019	70,200	322,688	1,113,639
11 災 害 復旧費	1,046	0.0	1,359	0.0	△ 313	△ 23.0	2	0	0	1,044
12 公債費	1,636,438	10.2	1,721,035	11.1	△ 84,597	△ 4.9	0	0	33,535	1,602,903
13 諸支出金	2	0.0	2	0.0	0	0.0	0	0	0	2
14 予備費	30,000	0.2	30,000	0.2	0	0.0	0	0	0	30,000
合 計	15,990,000	100.0	15,550,000	100.0	440,000	2.8	2,538,606	1,044,000	2,842,801	9,564,593

5. 一般会計歳出予算（性質別）

（ ）内は対前年度比

- ◆ **義務的経費 総額 65 億 3,050 万 5 千円（△1,661 万 4 千円、0.3%減）**
歳出に占める割合は 40.8%となっています。
- **人件費 26 億 639 万 1 千円（1 億 617 万 6 千円、4.3%増）**
職員給・手当（選挙分除く）3,105 万 3 千円、会計年度任用職員報酬 683 万 1 千円、共済組合負担金 7,198 万 8 千円（うち会計年度任用職員分 6,149 万 3 千円は物件費より移行）、議員報酬・手当 599 万 8 千円の増が主な要因です。
- **扶助費 22 億 8,767 万 6 千円（△3,819 万 3 千円、1.6%減）**
障害福祉サービス費 3,835 万 2 千円の増などや、児童手当・児童扶養手当 1,985 万円、子どものための教育・保育給付費負担金 2,829 万円の減などによるものです。
- **公債費 16 億 3,643 万 8 千円（△8,459 万 7 千円、4.9%減）**
消防救急デジタル無線事業の償還終了などが主な要因です。
- ◆ **投資的経費 総額 17 億 8,110 万 8 千円（2 億 9,637 万 5 千円、20.0%増）**
歳出に占める割合は 11.2%となっています。
- **普通建設事業費 総額 17 億 8,006 万 2 千円（2 億 9,668 万 8 千円、20.0%増）**
〈補助事業〉 5 億 7,203 万 6 千円（1 億 9,608 万 9 千円、52.2%増）
象潟大竹線道路改良事業 1 億 4,000 万円、天ヶ町・堺田 2 号線歩道整備事業 7,000 万円の増などや、災害対応特殊救急自動車購入 2,541 万 2 千円の減などによるものです。
〈単独事業〉 12 億 802 万 6 千円（1 億 59 万 9 千円、9.1%増）
防災行政無線強靱化事業 3 億 9,100 万円、スケートパーク整備事業 4,620 万円の増などや、金浦こ線橋改修事業 1 億 4,298 万 9 千円、図書館こぴあ・象潟 B&G 海洋センターの各大規模改修 1 億 3,203 万 6 千円の減などによるものです。
- ◆ **その他 総額 76 億 7,838 万 7 千円（1 億 6,023 万 9 千円、2.1%増）**
歳出に占める割合は、48.0%となっています。
- **物件費 31 億 2,472 万 8 千円（△1 億 2,272 万 3 千円 3.8%減）**
行ヒ森遺跡発掘調査事業 2,921 万 1 千円、高機能消防指令センター更新 6,292 万 9 千円の増などや、新型コロナウイルスワクチン接種事業 7,366 万 4 千円、飲食応援消費還元事業 5,027 万 3 千円の減などによるものです。
- **維持補修費 1 億 3,617 万 7 千円（1,078 万 9 千円、8.6%増）**
林道補修の増が主な要因です。
- **補助費等 9 億 3,543 万 7 千円（△6,693 万 6 千円、6.7%減）**
出産・子育て応援交付金 800 万円の増などや、新型コロナウイルスワクチン接種事業 1,690 万 5 千円、機構集積協力金交付事業 2,162 万 3 千円の減などによるものです。
- **積立金 13 億 4,837 万 8 千円（2 億 9,986 万 3 千円、28.6%増）**
公共施設等総合管理基金 4 億 17 万 6 千円の新設や、みらい創造基金 1 億円の減などによるものです。
- **繰出金 19 億 8,916 万 7 千円（3,924 万 6 千円、2.0%増）**
国保事業勘定（特別会計）1,952 万 3 千円、公共下水道事業（特別会計）1,242 万 2 千円の増などが主な要因です。

一般会計歳出予算(性質別)の概要

(単位:千円 %)

区分		令和5年度		令和4年度		比較増減		増減率
		当初予算額 A	構成比	当初予算額 B	構成比	A-B	C	C/B
義務的経費		6,530,505	40.8	6,547,119	42.2	△ 16,614		△ 0.3
内 訳	人件費	2,606,391	16.3	2,500,215	16.1	106,176		4.3
	扶助費	2,287,676	14.3	2,325,869	15.0	△ 38,193		△ 1.6
	公債費	1,636,438	10.2	1,721,035	11.1	△ 84,597		△ 4.9
投資的経費		1,781,108	11.2	1,484,733	9.5	296,375		20.0
内 訳	普通建設事業	1,780,062	11.2	1,483,374	9.5	296,688		20.0
	うち補助事業	572,036	3.6	375,947	2.4	196,089		52.2
	うち単独事業	1,208,026	7.6	1,107,427	7.1	100,599		9.1
	災害復旧費	1,046	0.0	1,359	0.0	△ 313		△ 23.0
その他		7,678,387	48.0	7,518,148	48.3	160,239		2.1
内 訳	物件費	3,124,728	19.5	3,247,451	21.0	△ 122,723		△ 3.8
	維持補修費	136,177	0.9	125,388	0.8	10,789		8.6
	補助費等	935,437	5.9	1,002,373	6.4	△ 66,936		△ 6.7
	貸付金	114,500	0.7	114,500	0.7	0		0.0
	投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0		0.0
	積立金	1,348,378	8.4	1,048,515	6.7	299,863		28.6
	繰出金	1,989,167	12.4	1,949,921	12.5	39,246		2.0
	予備費	30,000	0.2	30,000	0.2	0		0.0
合計		15,990,000	100.0	15,550,000	100.0	440,000		2.8

6. 特別会計の歳入歳出予算

() 内は対前年度比

● 国民健康保険事業特別会計事業勘定

〈主な歳入〉 国民健康保険税

4億2,907万4千円 (△5,262万1千円、10.9%減)

県支出金 (保険給付費交付金等)

21億4,005万4千円 (△ 167万4千円、 0.1%減)

〈主な歳出〉 保険給付費 (療養費等)

20億7,512万3千円 (△ 79万1千円、 0.1%減)

国民健康保険事業費納付金

7億2,778万5千円 (△ 306万8千円、 0.4%減)

※一般会計繰入金 2億761万1千円 (1,952万3千円、10.4%増)

● 国民健康保険事業特別会計施設勘定

〈主な歳入〉 診療収入 4,701万円 (297万円、 6.7%増)

〈主な歳出〉 総務費 6,606万6千円 (344万4千円、 5.5%増)

医業費 1,843万5千円 (484万6千円、35.7%増)

※一般会計繰入金 2,303万5千円 (207万9千円、 9.9%増)

● 後期高齢者医療特別会計

〈主な歳入〉 後期高齢者医療保険料

2億7,869万円 (△95万8千円、0.3%減)

〈主な歳出〉 後期高齢者医療広域連合納付金

3億7,155万6千円 (67万8千円、0.2%増)

※一般会計繰入金 9,495万9千円 (52万5千円、0.6%増)

● 公共下水道事業特別会計

〈主な歳入〉 使用料 2億2,033万9千円 (△ 104万8千円、 0.5%減)

国庫支出金 4,560万円 (△2,510万円、 35.5%減)

市債 4億7,690万円 (8,510万円、 21.7%増)

〈主な歳出〉 総務費 2億5,618万5千円 (△1,157万5千円、 4.3%減)

事業費 2億4,096万7千円 (6,037万1千円、33.4%増)

公債費 8億8,073万3千円 (2,173万8千円、 2.5%増)

※一般会計繰入金 6億2,988万5千円 (1,242万2千円、 2.0%増)

● 農業集落排水事業特別会計

〈主な歳入〉 使用料 7,408万円 (△ 150万円、 2.0%減)

市債 1億390万円 (△1,290万円、 11.0%減)

〈主な歳出〉 総務費 1億1,107万5千円 (△5,142万8千円、31.6%減)

公債費 3億235万6千円 (△1,882万円、 5.9%減)

※一般会計繰入金 2億2,376万8千円 (△ 156万9千円、 0.7%減)

7. 主要事業の概要

基本方針1 【快適に暮らせるまち】 27億8,187万8千円

1. 『災害に強いまちづくり』…3億9,753万2千円

防災行政無線設備の更新及び強靱化事業（3億9,100万円）などを計上しています。

2. 『安心・安全なまちづくり』…5,719万9千円

カーブミラーの新設・修繕など（212万円）のほか、防犯街灯等設備整備事業（5,050万円）には、防犯街灯LED化事業（700万円）を拡充分として計上しています。

3. 『人にやさしいまちづくり』…9億3,595万4千円

障害者の自立支援給付事業（5億8,375万2千円）や生活保護扶助費を含む生活保護事業（2億1,000万円）などのほか、成年後見制度利用促進体制整備推進事業（376万2千円）には専門人材の配置に係る負担金を拡充分として計上しています。また、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するために重層的支援体制整備事業（221万7千円）を新規に計上しています。

4. 『心と体の健康づくり』…1億713万9千円

後期高齢者特定健康診査事業（1,565万2千円）、国保被保険者に係る特定検診及び保健指導に係る事業（2,683万8千円）、各種がん検診事業（2,384万7千円）などを引き続き計上しています。

5. 『環境にやさしいまちづくり』…148万円

空き家等解体補助事業（100万円）や、猫不妊去勢手術費補助事業（48万円）を引き続き計上しています。

6. 『交通ネットワークの整備』…6億5,175万6千円

コミュニティバス運行委託などのバス路線代替運行委託事業（5,309万4千円）、天ヶ町・堺田2号線歩道整備事業（1億円）、象潟大竹線道路改良事業（2億8,000万円）などのほか、橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託（1,000万円）を含む橋梁補修事業（7,900万円）を計上しています。

7. 『快適な生活環境づくり』…6億3,081万8千円

第3期の高機能消防指令センター更新事業（1億612万8千円）、遊佐象潟道路事業に伴う水道管関連工事（1億109万円）、公共下水道工事（1億7,404万円）などのほか、スケートボード施設整備（4,620万円）を含む公園施設整備事業（4,920万円）や、新規事業としてスケートパーク運営管理事業（161万3千円）、横根浄水場ろ過機点検歩廊更新工事（4,785万円）を計上しています。

基本方針 2 【子育てしやすいまち】 15 億 8,673 万 2 千円

1. 『若い世代の希望実現』…3,651 万 3 千円

すこやか子だから祝金支給事業(700 万円)、妊婦健診等事業(1,242 万 3 千円)などのほか、新規事業として結婚新生活支援事業(600 万円)を計上しています。

2. 『子育て環境の充実』…13 億 3,684 万円

保育所・認定こども園運営事業(8 億 4,392 万 9 千円)、子ども家庭総合支援拠点事業(898 万 3 千円)などを継続するほか、出産・子育て応援交付金事業(802 万 1 千円)や一時保育利用補助金(40 万円)を新規に計上し、拡充事業として障害児保育事業(720 万円)を計上しています。また、乳幼児健診等事業(348 万 6 千円)には感染症拡大等による乳児健診未受診者への個別健診費助成を追加し、任意予防接種事業(841 万 7 千円)には男性HPVワクチン任意予防接種助成を追加しています。

3. 『知・徳・体の調和のとれた子どもの育成』…2 億 1,337 万 9 千円

スクールバス運行事業(2,200 万円)、不登校児童生徒支援事業(1,561 万 1 千円)、学校生活・学習サポート事業(5,322 万 8 千円)、小中学校教育用コンピュータ整備事業(3,065 万 3 千円)などのほか、社会教育においては、学校・家庭・地域連携総合推進事業(145 万 8 千円)などを引き続き計上しています。

基本方針 3 【高齢者が元気なまち】 1 億 3,519 万 7 千円

1. 『高齢者の生活支援』…9,127 万 8 千円

敬老事業(620 万円)、長寿祝金事業(1,584 万 8 千円)、家族介護援助金支給事業(850 万円)、声かけ見守り巡回事業(334 万 7 千円)などを引き続き計上しています。

2. 『介護サービスの充実』…4,391 万 9 千円

介護予防・生活支援サービス事業(1,666 万 8 千円)、包括的支援事業(1,207 万 8 千円)などのほか、一般介護予防事業(872 万 5 千円)には介護予防ボランティアポイント事業に係る費用を拡充分として計上しています。

基本方針 4 【若者に魅力のあるまち】 3,881 万 9 千円

1. 『地元定着の推進』…224 万 1 千円

若者地元就職促進事業として、夏休み親子職場見学会や中小企業等人材確保支援事業費補助金を引き続き計上しています。

2. 『にかほの魅力発信』…3,657 万 8 千円

子ども伴奏プロジェクトPR事業(454 万 9 千円)のほか、移住・定住促進事業(1,764 万 9 千円)、移住リエゾン事業(938 万円)、移住・就業支援事業(500 万円)を引き続き計上しています。

基本方針5 【人と文化が豊かなまち】 1億6,474万7千円

1. 『多様な学習機会の提供』…1億2,082万円

市民文化祭などの文化振興事業（415万1千円）や、池田修三作品活用事業（181万円）などを引き続き計上しています。施設整備の新規事業としては、フェライト子ども科学館リニューアル事業（5,500万円）、白瀬南極探検隊記念館オーロラドーム映像リニューアル事業（720万円）のほか、多機能化による建替基本設計に係る費用を金浦海洋センター建替事業（110万円）に計上しています。また、図書館大規模改修事業（3,706万円）では、図書館こぴあエレベーター設置工事費用を計上しています。

2. 『みんなが楽しめるスポーツの振興』…870万8千円

eスポーツ推進事業（60万円）や、健幸プロジェクト連携事業委託などの運動・スポーツ習慣化促進事業（252万3千円）などのほか、ブラウブリッツ秋田が行う事業に対し補助をする地域スポーツ活動支援事業（100万円）を引き続き計上しています。

3. 『伝統文化の保存・継承』…3,521万9千円

伝統芸能継承推進事業（140万円）や、緊急調査の結果などに基づき実施する獅子ヶ鼻湿原保存活用計画策定事業（232万8千円）などを計上しています。新規事業としては、若者支援住宅造成事業に伴う行ヒ森遺跡発掘調査事業（2,921万1千円）や、象潟前川地区景観保全型ほ場整備事業などの各種開発事業に伴う埋蔵文化財分布調査事業（174万円）を計上しています。

基本方針6 【稼ぐ力が強いまち】 7億2,556万7千円

1. 『稼ぐ農林業の育成』…4億5,649万7千円

新規事業としては、環境保全型スマート農業のモデル構築を目指し実証実験を行うグリーンな栽培体系への転換サポート事業（816万円）や、地域の農業の在り方等を明確化した地域計画を策定するための人・農地将来ビジョン確立・実現支援事業（261万5千円）を計上し、拡充事業としては、秋田県水と緑の森づくり税事業（2,491万7千円）に、マツ林被害木調査伐倒処理費用を計上しています。また、象潟前川地区ほ場整備事業（1,909万円）、多面的機能支払交付金事業（1億842万6千円）、中山間地域等直接支払交付金事業（1億5,379万8千円）、民有林整備促進事業（1,600万円）、森林経営管理制度事業（2,580万1千円）、林道施設等整備事業（1,230万円）などを引き続き計上しています。

2. 『資源を活用した水産業の振興』…1億4,539万円

漁業経営安定資金貸付事業（1億円）や水産基盤整備関係事業（1,925万円）などのほか、拡充事業として漁港浚渫事業（1,680万円）や、販路拡大などの新たな取組としての漁業体験事業や魅力発信事業の補助金を水産業活性化支援事業（228万円）に計上しています。

3. 『魅力ある商業・サービス業づくり』…1,370万3千円

商工会運営支援事業(1,000万円)のほか、商業活動活性化支援事業(140万円)や経営発達支援事業(230万3千円)を引き続き計上しています。

4. 『魅力ある企業づくり』…3,464万9千円

企業競争力強化支援事業(297万4千円)や、企業人材育成支援事業(254万3千円)、企業立地促進事業(352万6千円)のほか、計画3年目となるワーケーション推進事業(2,180万4千円)を引き続き計上しています。

5. 『自然と文化を融合した観光振興』…7,532万8千円

観光協会補助事業(2,000万円)のほか、アウトドア拠点づくり事業(1,504万円)ではアウトドアアカデミーの開催やコンテンツ制作業務委託費などを計上しています。また、ジオパーク推進事業(1,194万9千円)は、世界ジオパーク認定を目指し、鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会負担金を引き続き計上しています。

基本方針7 【市民と行政が協働でつながるまち】 7億9,135万3千円

1. 『活力あるコミュニティづくり』…2,810万3千円

自治会等の地域活動や集会施設整備費への補助などとして自治会関係事業(264万4千円)を計上しているほか、協働のまちづくり事業(1,067万4千円)、若者100人会議事業(504万6千円)、花いっぱい運動事業(589万9千円)などを引き続き計上しています。

2. 『地域内外との交流・連携』…4,573万9千円

国際交流事業(663万8千円)や、にかほ市ふるさと会運営補助などの地域間交流事業(405万円)のほか、地域の魅力発信事業(545万円)、地域おこし協力隊事業(2,395万1千円)などを引き続き計上しています。

3. 『効率的な行財政運営』…7億1,751万1千円

各庁舎窓口にキャッシュレス端末を導入するなどのDX推進事業(1,470万円)を新規計上し、マイナンバー関連事業(2,619万2千円)ではマイナンバーカード出張申請支援業務を拡充します。また、旧上浜小学校利活用事業(1億1,510万円)や、ふるさと納税特産品返礼事業(5億4,444万9千円)などを引き続き計上しています。

